



## 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ヨコオ

コード番号 6800 URL <http://www.yokowo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 (氏名) 徳間 孝之

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 横尾 健司

TEL 03-3916-3111

四半期報告書提出予定日 平成24年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	7,421	27.7	297	—	226	—	73	—
24年3月期第1四半期	5,812	△16.5	3	△99.2	△105	—	△122	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △352百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 △240百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	3.67	—
24年3月期第1四半期	△6.15	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	22,356	14,537	65.0
24年3月期	22,895	15,010	65.6

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 14,537百万円 24年3月期 15,010百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	3.00	—	6.00	9.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,000	6.1	600	93.1	450	—	280	—	14.00
通期	29,000	3.8	1,400	53.4	1,250	77.2	800	134.8	39.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規制」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	20,849,878 株	24年3月期	20,849,878 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	844,597 株	24年3月期	844,597 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	20,005,281 株	24年3月期1Q	20,005,380 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、出口の見えない欧州債務危機の動向に大きく左右される状況が続きました。先進諸国は依然として回復軌道に乗れず、中国・インド等新興国においても減速感が強まることとなりました。

わが国におきましては、個人消費が緩やかな増加傾向となったほか、企業の設備投資に回復の兆しが出てきておりますが、所得環境悪化による消費心理の冷え込み、購入支援策の反動減、円高定着化などの懸念材料もあり、先行きは楽観視できない状況にあります。

当社グループの主要市場である自動車市場、半導体製造・検査市場、携帯電話市場におきましては、環境対応車・スマートフォン関連を中心に、海外市場、特に新興国市場における競合企業間のシェア争い激化とともに需要拡大が続いておりますが、欧州不況の波及により成長ペースにはかげりが見え始めております。

このような状況の中、当社グループは、経営基本方針に掲げる3つのイノベーション（プロダクト/プロセス/パーソネル）の推進に取り組み、各事業における戦略製品の開発・提案、ベトナム工場本格稼働準備、マレーシア工場の生産設備増強などに注力いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、東日本大震災の影響を強く受けた前年同期に比べて大幅な増収となりました。ファインコネクタ事業の減収などから無線通信機器セグメントが減収となったものの、国内新車販売増に伴う受注増などにより車載通信機器セグメントが大幅増収となったことから、74億2千1百万円（前年同期比+27.7%）となりました。営業損益につきましては、中国における労務費増加、原材料価格高止まりなどがありましたが、増収による売上総利益増加などにより、2億9千7百万円の利益（前年同期比2億9千4百万円の増加）と、前年同期比で大幅な増益となりました。経常損益及び四半期純損益につきましても、営業増益を受けて前年同期の赤字から一転、黒字となりました。経常損益は、円高に伴う為替差損計上などにより、2億2千6百万円の利益（前年同期比3億3千2百万円の増加）となり、四半期純損益は、固定資産除却損9百万円の計上や、当社の将来減算一時差異減少に伴う税金費用増加などにより7千3百万円の利益（前年同期比1億9千6百万円の増加）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

**<車載通信機器>**

当セグメントの主要市場である自動車市場は、中国・インド・ブラジルなど新興国の経済成長が減速しつつあるものの、着実に拡大を続けております。また、国内市場におきましては、エコカー補助金制度を追い風として新車販売が好調に推移しております。

このような状況の中、当社グループの主力製品であるマイクロアンテナをはじめとする自動車メーカー向け製品の販売は、前年同期を大幅に上回りました。国内向けフィルムアンテナの販売が地デジ化対応需要の一巡により前年同期を下回ったものの、セグメント全体としては好調な推移となりました。

この結果、当セグメントの売上高は45億8千8百万円（前年同期比+52.2%）と、前年同期比で大幅な増収となりました。セグメント損益につきましては、1億9千3百万円の利益（前年同期比4億4千9百万円の増加）となりました。

**<回路検査用コネクタ>**

当セグメントの主要市場である半導体検査市場は、伸び悩む半導体市場の中でも好調を維持すると見られているスマートフォン関連を中心に検査需要が拡大しております。

このような状況の中、当社グループは、国内外大手顧客を中心に積極的な拡販活動を展開し、主力製品であるIC検査用BGAソケットをはじめ、ICユニットリング・ウエハ検査用垂直プローブカードも前年同期を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は14億3千4百万円（前年同期比+14.4%）と、前年同期比で増収となりました。セグメント損益につきましては、1億1千8百万円の利益（前年同期比+162.8%）となりました。

**<無線通信機器>**

当セグメントの主要市場である携帯電話市場は、順調に利用拡大が進むスマートフォンに牽引され、成長が続いておりますが、セットメーカーなど供給側においては、競争優位の世界大手数社による寡占化が進んでおります。

このような状況の中、微細スプリングコネクタを中核製品とするファインコネクタ事業におきましては、海外大手顧客の販売不振などにより、売上高は前年同期を下回りました。

携帯電話機向けアンテナ事業につきましては、海外大手顧客の主力スマートフォン／タブレットPCへの採用により内蔵メインアンテナ／サブアンテナの受注が堅調に推移したものの、大型新機種立ち上げのあった前年同期の反動や、製品構成・販売単価の変動により、売上高は前年同期を下回りました。

当セグメントに含めております医療・デバイス事業につきましては、ガイドワイヤ用コイル、マーカリング等主力製品、カテーテルユニット組立加工ともに受注が順調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は13億9千9百万円（前年同期比△9.4%）と、前年同期比で減収となりました。セグメント損益につきましては、2千5百万円の利益（前年同期比△53.7%）となりました。

(事業セグメント別連結売上高)

(単位：百万円、%)

	前第1四半期 自平成23年4月 至平成23年6月	前四半期 自平成24年1月 至平成24年3月	当第1四半期 自平成24年4月 至平成24年6月	前年同期比	前四半期比
	売上高	売上高	売上高	増減率	増減率
車載通信機器	3,013	4,952	4,588	+52.2	△7.4
回路検査用コネクタ	1,254	1,263	1,434	+14.4	+13.6
無線通信機器	1,543	1,459	1,399	△9.4	△4.1
合計	5,812	7,674	7,421	+27.7	△3.3

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、売上債権減少3億9千9百万円、投資有価証券減少2億5千8百万円などにより、223億5千6百万円（前連結会計年度末比5億3千8百万円の減少）となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、短期借入金減少1億円、賞与引当金減少1億8千6百万円などにより、78億1千8百万円（前連結会計年度末比6千6百万円の減少）となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、四半期純利益7千3百万円を計上しましたが、その他有価証券評価差額金減少1億6千6百万円、為替換算調整勘定減少2億5千9百万円、前連結会計年度に係る期末配当金の支払1億2千万円などにより、145億3千7百万円（前連結会計年度末比4億7千2百万円の減少）となりました。

(自己資本比率)

当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は65.0%（前連結会計年度末比△0.5ポイント）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

世界経済は欧州債務危機などから先行きが不透明であり、当社グループの経営環境も非常に厳しい状況が続くものと見られますが、当社主要市場における需要見通しや為替相場の動向などの前提条件が概ね想定範囲内で推移していることから、平成24年5月11日公表の連結業績予想（第2四半期累計期間及び通期）を据え置くことといたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更  
(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更に伴う影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,830,100	3,946,146
受取手形及び売掛金	6,834,509	6,435,273
商品及び製品	1,254,119	1,216,652
仕掛品	473,565	473,484
原材料及び貯蔵品	1,170,616	1,177,888
その他	890,020	784,327
貸倒引当金	△2,225	△1,791
流動資産合計	14,450,707	14,031,981
固定資産		
有形固定資産	5,377,742	5,428,534
無形固定資産		
その他	799,496	878,354
無形固定資産合計	799,496	878,354
投資その他の資産	2,267,273	2,017,462
固定資産合計	8,444,512	8,324,351
資産合計	22,895,220	22,356,333
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,650,958	3,576,058
短期借入金	400,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	200,000	—
未払法人税等	57,707	90,334
賞与引当金	325,459	138,604
その他	1,604,915	1,941,749
流動負債合計	6,239,040	6,246,746
固定負債		
長期借入金	500,000	500,000
退職給付引当金	318,718	317,657
その他	827,329	754,329
固定負債合計	1,646,048	1,571,987
負債合計	7,885,088	7,818,734
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,996,269	3,996,269
資本剰余金	3,981,928	3,981,928
利益剰余金	8,708,027	8,661,437
自己株式	△991,126	△991,126
株主資本合計	15,695,098	15,648,509
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	175,566	9,061
為替換算調整勘定	△860,533	△1,119,970
その他の包括利益累計額合計	△684,967	△1,110,909
純資産合計	15,010,131	14,537,599
負債純資産合計	22,895,220	22,356,333

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	5,812,065	7,421,596
売上原価	4,610,465	5,829,816
売上総利益	1,201,599	1,591,779
販売費及び一般管理費	1,198,069	1,293,832
営業利益	3,529	297,946
営業外収益		
受取利息	1,761	1,170
受取配当金	24,370	21,007
その他	10,258	15,498
営業外収益合計	36,389	37,676
営業外費用		
支払利息	10,726	8,712
為替差損	124,846	93,348
その他	10,155	6,842
営業外費用合計	145,728	108,903
経常利益又は経常損失(△)	△105,808	226,719
特別利益		
固定資産売却益	651	354
特別利益合計	651	354
特別損失		
固定資産売却損	13	348
固定資産除却損	9,564	9,427
特別損失合計	9,577	9,776
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△114,735	217,296
法人税、住民税及び事業税	22,324	85,412
法人税等調整額	△14,123	58,442
法人税等合計	8,200	143,854
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△122,935	73,441
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△122,935	73,441

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△122,935	73,441
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22,411	△166,505
為替換算調整勘定	△95,531	△259,437
その他の包括利益合計	△117,943	△425,942
四半期包括利益	△240,878	△352,500
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△240,878	△352,500
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	車載通信機器	回路検査用 コネクタ	無線通信機器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,013,886	1,254,263	1,543,914	5,812,065	—	5,812,065
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	34,563	—	34,563	△34,563	—
計	3,013,886	1,288,826	1,543,914	5,846,628	△34,563	5,812,065
セグメント利益又は損失 (△)	△256,047	45,220	55,999	△154,827	158,357	3,529

(注) セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っています。

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	△154,827
たな卸資産未実現利益調整額	86,456
その他調整額	71,900
四半期連結損益計算書の営業利益	3,529

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	車載通信機器	回路検査用 コネクタ	無線通信機器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,588,029	1,434,424	1,399,141	7,421,596	—	7,421,596
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	44,967	—	44,967	△44,967	—
計	4,588,029	1,479,391	1,399,141	7,466,563	△44,967	7,421,596
セグメント利益	193,209	118,821	25,933	337,965	△40,018	297,946

(注) セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っています。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	337,965
たな卸資産未実現利益調整額	△36,398
たな卸資産評価減調整額	△13,987
その他調整額	10,367
四半期連結損益計算書の営業利益	297,946

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。